短歌で詠む 一般質問

いっぱんしつもん

市民の声を議会に届ける一般質問。
普段は長くて気むずかしい一般質問を
短歌調で解説しちゃいます。

一郎　赤字増え 揺らぐ病院 その道を 外の知恵借り どう立て直す

市長　病院の 今を分析 策を出し 地域医療を 未来へつなぐ

「韮崎市立病院について」
令和7年12月第4回定例会

いちろうの解説



病院の“10億円赤字” 立て直しに向けて

韮崎市立病院は、峡北地域の医療を支える大切な存在です。一方で、累積赤字は10億円規模となり、経営状況は大変厳しいものとなっています。市立病院の役割や赤字の要因、今後どのように立て直していくのか質問しました。市としても、外部の専門的な知見を持つコンサルを導入し、病院の現状分析や病床機能の再編、診療収益の強化など、具体的な改善策につなげていく考えです。また、専門的な経験を持つ新たな事務局長を迎え、まさに今、体制を立て直すための取り組みが進められています。

一郎　朝一の 特急つなぐ 道ひらけ 韮崎暮らし 都へ近づく

市長　線路から 未来を結ぶ まちづくり 沿線ともに 声を届けん

「JR中央線の特急について」
令和7年12月第4回定例会

いちろうの解説



“韮崎と首都”をつなぎ 暮らしの可能性を広げたい

甲府駅を早朝に出発し、新宿駅に7時29分に到着する特急が試験的に運行されています。都内にこの時間に着けることは、通勤・通学、仕事、学びの選択肢を広げる大きなメリットです。現在のダイヤでは韮崎駅から接続できませんが、韮崎からも利用できる形になれば、韮崎に住みながら首都圏とつながる暮らしの可能性がさらに広がると考え、質問しました。市長も「本市からの円滑な接続により、さらなる利便性の向上が図られる」と答弁。実現に向けて、「引き続きあらゆる機会を通じて働きかけていく」との方針が示されました。

「にらいち」のあとがき

多くのご意見をいただく中で、意見をすり合わせることの難しさを日々痛感しています。社会が多様化する今、対話や合意形成の力がこれまで以上に必要だと感じています。
そこでこの春から、コミュニーケーションについて実践的に学ぶため、半年間、青山学院大学大学院の社会人プログラムに通い始めました。土日がほぼ授業でなかなか大変ですが、この半年で得た学びを韮崎のこれからにしっかり返していけるよう頑張ります！

次回は半年後に発行予定です！



いしかわ一郎の活動や一般質問の詳細はQRコードからもご覧いただけます。

問合せ住所/発行元：穴山町4879 いしかわ一郎後援会